

ダリア目揃え会

秋田市産ダリアの出荷盛期を目前に控えた8月26日(水)、ダリアの目揃え会が秋田市雄和の園芸集出荷施設で開かれました。生産者ら25名が品質基準や出荷方法、産地情勢などを学び、高品質なダリアの出荷に向けて意識を高めました。

生産者は当日出荷されたダリアを見ながら、それぞれの発色や花の開き具合について意見を交わしました。秋田県オリジナル品種「NAMAHAGE」シリーズの新品種で、今年度市場デビューとなる「REIWA」「ノンチャン」「プリティ」を栽培する生産者が生育状態や出荷時の注意点を説明し、参加者の注目を集めました。

ダリアの品種特性を確認する参加者



「スマート農業実証プロジェクト」小菊収穫作業が公開

男鹿・潟上地区園芸メガ団地で9月3日(木)、国の「スマート農業実証プロジェクト」の一環で小菊の一斉収穫機と切花調整ロボットの作業が公開されました。同メガ団地は花き農場では全国初の実証圃として、令和元年度からプロジェクトに参加しています。

同メガ団地の吉田洋平さんが、ネットを巻き取りながら小菊を立茎状態で収穫する一斉収穫機を使い、露地栽培の小菊「精はん」を収穫しました。当JAの船越花き集出荷所では、切花調整ロボットによってカットや選別、結束が自動で行われました。

吉田さんは「2つを併用することで、作業効率の向上を感じる」と話しました。

一斉収穫機による小菊収穫の実演



NEWS & TOPICS

野菜部会合同視察研修

9月4日(金)、野菜部会の秋田支部と男鹿支部による合同視察研修が行われました。男鹿市五里合の(農)いりあいファーム滝の頭と秋田市雄和の(農)平沢ファームのネギの作業所や枝豆の共選設備を見学し、機械化による効率的な生産体制について理解を深めました。

参加した生産者はネギの作業所を見ながら、効率のよい機械設備や作業工程、人員配置などの意見を交わしました。園芸集出荷施設で枝豆の共選設備を見た参加者は、搬入から出荷までの流れや選別基準に注目しました。JA全農あきた生産資材部農業機械課からは、労力軽減を目指した機械化一貫体系について解説がありました。

ネギの作業所を見て意見を交わす生産者



地元小学生が「男鹿梨」を学ぶ

梨の収穫が盛んな9月、男鹿市内の小学生が五里合中石地区の園地や当JAの中石梨選果場を訪れ、地元の特産物である「男鹿梨」の関心を高めました。

24日(木)には男鹿市立脇本第一小学校の3年生約20名が、ふるさとを学ぶ社会科学見学の一環で見学に訪れました。児童は梨を観察しながら生育状態や病害虫、出荷先などの流通方法について熱心に質問し、レポートに書き留めました。同地区で栽培する品種全てを、一生懸命に覚える姿も見られました。

園地で「幸水」を口にしたら児童は、「とても甘いね」「こども美味しそう」などと笑顔で会話を交わしていました。

梨を口に笑顔を見せる児童

